

永福の本欄

2017年

6月号



【今月の特集】



日本の ものづくり



特集コーナー

日本のものづくり



日本の製造業を支える町工場に関する本や、企業の創業者の伝記、伝統工芸の職人についての本、ものづくりをテーマにした小説など集めました。ものづくりを様々な角度からみた特集です。

『ものづくりとくらしの日本史 復元模型でよくわかる』

石井進／編 KADOKAWA

請求記号: 210イ

ISBN:978-4-404-03911-8

古来より様々な知恵や、諸外国との交流によって変遷や発展を重ねてきた各種産業について、14の分野に分けわかりやすく解説。全国各地の博物館や資料館などの立体復元模型が紙の上とはいえ多数集まっており、図版を眺めるだけでも楽しめます。



『「手仕事」で夢をかなえる女性たち

ものづくりを生業にした24人の物語』

塩沢楨／写真・文 淡交社

請求記号: 750シ

ISBN:978-4-473-03811-1

様々な分野の手仕事を生業とする女性を紹介。ものづくりとの出会いと平坦ではなかった歩みが語られています。ひとつとして同じものがない作品は、彼女達の笑顔のように、素敵であたたかい物ばかりです。



『靴づくりの文化史

日本の靴と職人』

稲川實／著 山本芳美／著 現代書館

請求記号: 580イ

ISBN:978-4-7684-5655-2

日本のはきものと言えば下駄や草履などがありますが、西洋の革靴を履くようになったのは幕末といわれています。本書は、日本人による靴づくりの歴史を紹介。靴づくりに関わる方々の姿を伝えます。



『日本の産業遺産図鑑 これだけは見ておきたい』

二村悟／著 小野吉彦／写真 平凡社

請求記号: 600ニ

ISBN:978-4-582-54450-3

富岡製糸場や軍艦島を始め、国や地域、技術の発展に貢献した建造物を、各地方ごとに紹介。重厚なレンガ造りの洋風建築、洗練された飾り窓や梁のある内部、曲線の美しいコンクリートの柱や塔…。デザイン性の高い建築物としての楽しみ方もできます。





新着図書コーナー



『世界の郷土菓子』

旅して見つけた！地方に伝わる素朴なレシピ』

郷土菓子研究社・林周作／著 河出書房新社

請求記号:596.6/ハ

ISBN:978-4-309-28628-0



地元の人から愛されている、気取らないお菓자에魅せられた著者は、食べ歩きの旅にでます。食べたお菓子の記録を読むと、実際に現地へ行き、食べてみたくくなります。日本にいながら、各国の郷土菓子の味を再現できるようレシピも掲載。

『地図と地形で楽しむ横浜歴史散歩』

都市研究会／編 洋泉社

請求記号:219.3ト

ISBN:978-4-8003-1205-1



江戸時代まで寒村であった横浜は、開港をきっかけに驚異的な発展をしました。その秘密を地形・地名・鉄道・歴史などからさぐります。横浜の魅力を再発見できる本です。

『介護破産 働きながら介護を続ける方法』

結城康博／著 村田くみ／著

KADOKAWA

請求記号:369.2ユ

ISBN:978-4-04-601582-2



高齢者1人の介護に必要な金額は、平均546万1000円といわれている。昨今の厳しい財政状況は社会保険制度全体の削減の方向に進み、ますます介護に関する金銭的問題を深刻なものにするだろう。そこで介護実態を十分に把握し、それらに備えることで介護破産を防ぐ方法をまとめる。

『外国人の子ども白書』

権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から』

荒牧重人／編(ほか) 明石書店

請求記号:369.4ミ

ISBN:978-4-7503-4495-9



外国人の子どもたちの日本社会における不遇・不適合と、それに対する日本社会の対処・善処が複数の専門家によりまとめられています。また多数のデータや複数の外国人の証言もあり、在住外国人の視点からの、日本社会の実態が見えてきます。

えいふく

イベントレポート



新緑えいふく寄席は今年で3回目。杉並江戸落語研究会の皆さんは2回目の登場です。小学2年生の気泡亭一貫齊さんは「転失気」を、女性噺家の高円寺亭小鈴さんは「金明竹」、会長の事例亭武蕉さんは「宿屋の仇討ち」でお開きになりました。なかでも一貫齊さんは口跡も良く、会場の人気者に

「新緑えいふく寄席」

5月14日(日) 午後2時～3時



なりました。母の日の日曜日ということもあってか、ご家族で参加される方や、お子さんの参加もありました。普段、寄席に行きづらいと思うお子さんでも、気軽に図書館で落語をきいていただいて、身近に感じていただけたらと思います。落語の本も借りていかれる方もいました。

今月のスポット展示 6/2(金)～7/5(水)



「あの頃 こんなこと・こんなひと・こんなもの」

ある年代、ある1つのテーマなどにスポットを当ててその歴史を振り返る、様々な本を集めました。当時を知る方には懐かしく、初めて見る方には新鮮さや驚きを感じながら、楽しんでいただければ幸いです。

永福図書館からの

お知らせ

開館時間 (月曜～土曜) 午前9時～午後8時
(日曜・祝日) 午前9時～午後5時

6月の休館日

6月1日(木)、15日(木)

杉並区子ども読書月間行事

「えいふく どくしょつうちょう」スタート!!

読んだ本のタイトルと感想を書いて、
自分だけの読書通帳をつくりましょう!

読書通帳は6月2日(金)から1階カウンターにて配布いたします。

どなたでも参加できますので、ご家族で読書記録をつけてみませんか?



—本の取扱いについてのお願い—

水濡れ、汚損、破損された本の返却が増えています。本は湿気や水をすぐに吸収してしまいます。持ち運ぶ時はビニール袋に入れる、飲食物を近くに置かない等、マナーを守って利用してください。借りた本を紛失、破損してしまった場合は図書館スタッフにお知らせください。弁償していただくことがあるため、取り扱いには注意しましょう。

※破損した本をご自身で修理することはおやめください。

大切な蔵書をより長く利用できるよう皆様のご協力をお願いいたします。

問合せ：永福図書館 (杉並区永福4-25-7 ☎ 03-3322-7141)

永福の本棚 2017年6月号 (通巻240号)

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。